

# WideAngle セキュリティ教育&メール訓練

## 管理者マニュアル ～スタートアップ編～ Ver2.04



2025年8月27日

NTTドコモビジネス株式会社  
PS本部M&S部SS部門2G

# はじめに

つながり。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

本ガイドではKnowBe4をご利用いただくにあたり、管理者向けの基本的な手順や標準的な設定内容を記載しています。

## 管理者編

### A 初期設定

- A-1 初期ログイン
- A-2 多要素認証の設定
- A-3 グループの作成
- A-4 ユーザーの作成
- A-5 ホワइटリストの登録
- A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除
- A-7 Phish Alertボタンの配布

## 管理者編

※管理者がユーザーとして受講する場合

### E マイトレーニング

- E-1 受講者ホームログイン

### B セキュリティ教育

- B-1 ログイン
- B-2 トレーニングコンテンツの選定
- B-3 トレーニングキャンペーンの作成
- B-4 進捗・結果の確認

### C フィッシングメール訓練

- C-1 ログイン
- C-2 訓練メールの選定
- C-3 フィッシングキャンペーンの作成
- C-4 結果の確認

## ユーザー編

**ユーザーマニュアルを  
ご確認ください。**

### D 評価・分析

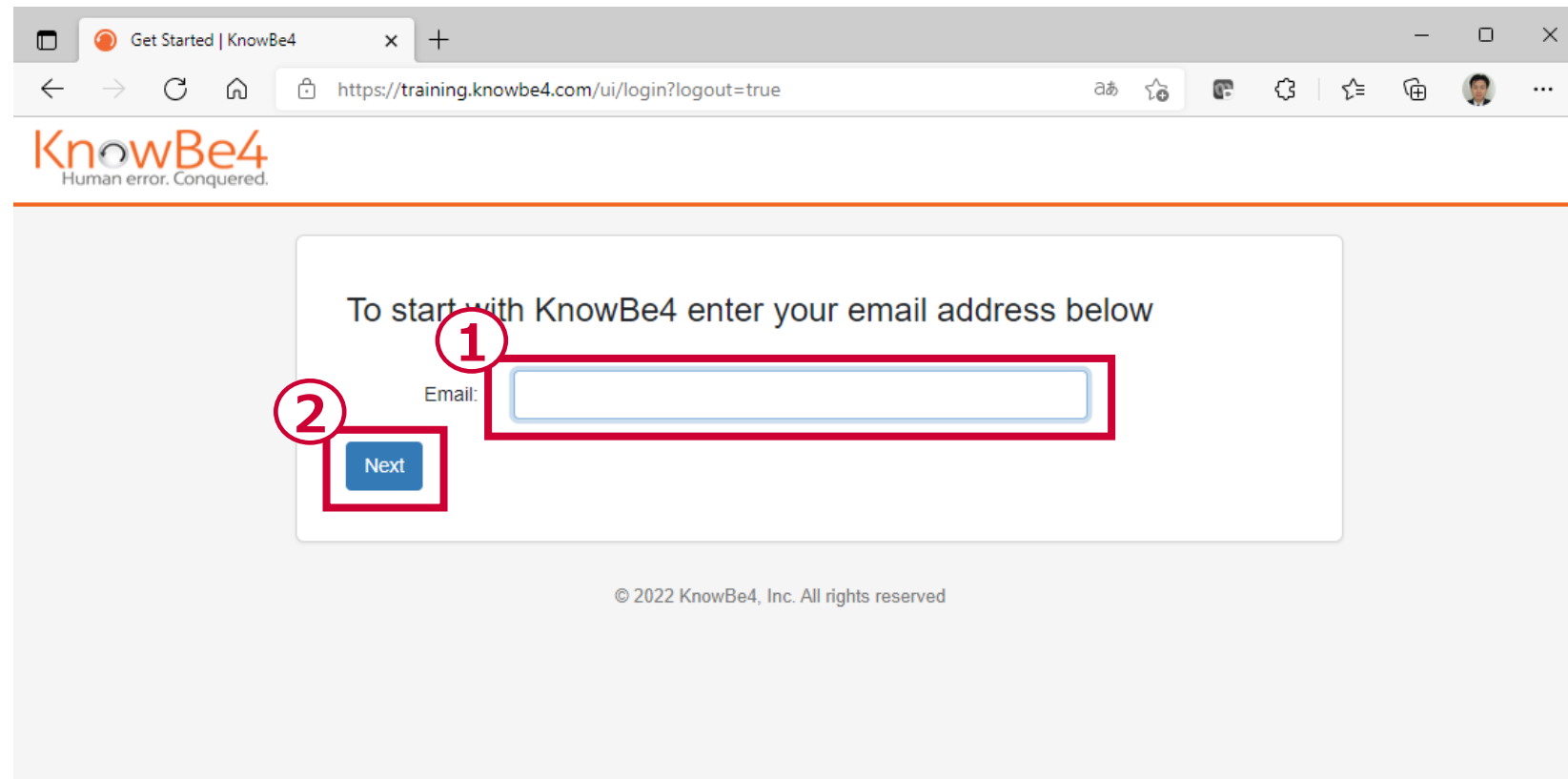
- D-1 ダッシュボード
- D-2 レポート

その他任意設定や補足情報については、管理者マニュアル～付録編～、またはKnowBe4ナレッジベース (<https://support.knowbe4.com/hc/ja>) をご確認ください。  
本マニュアルや操作についてのご質問は、サポートサイト (<https://support.ntt.com/wideangle-st>) からお問い合わせください。

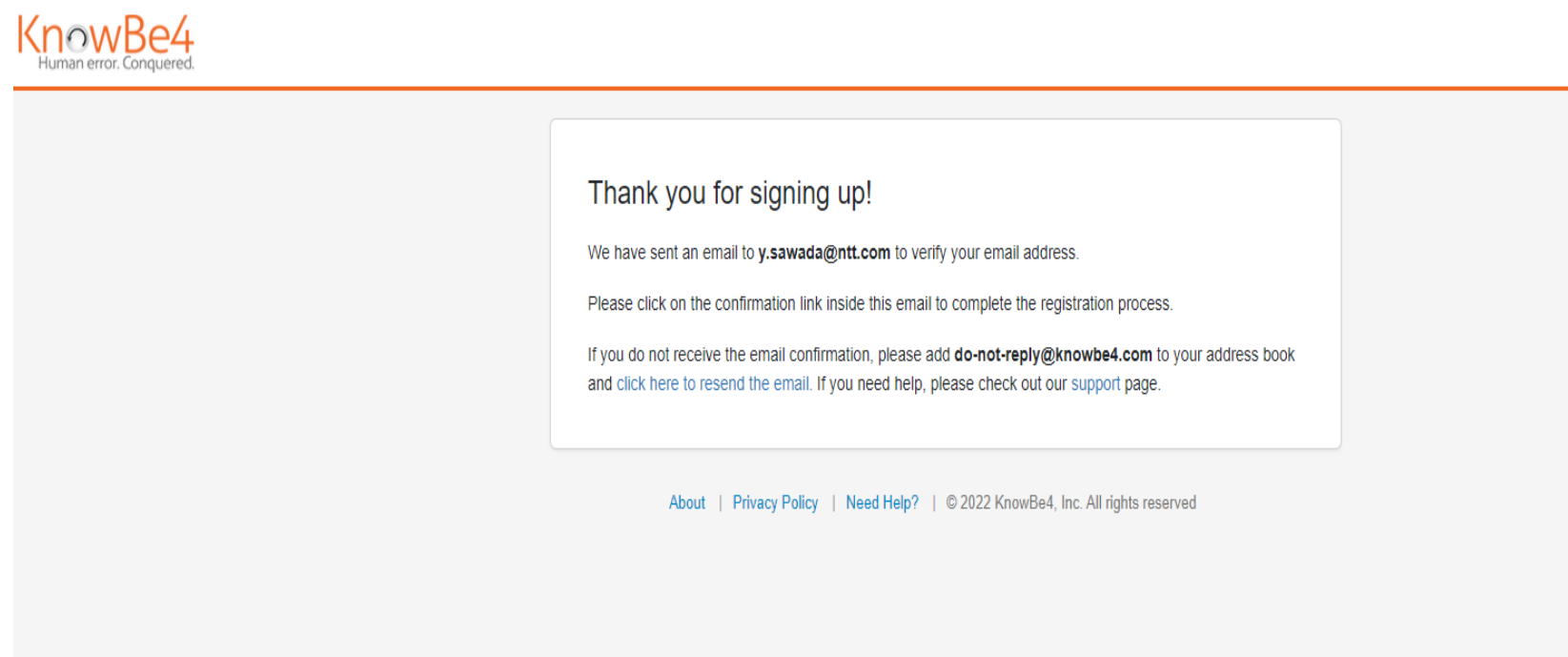
No	用語	定義
1	KnowBe4	セキュリティ意識向上トレーニング/Security Awareness Trainingを提供する会社名であり、サービス名です。
2	フィッシング	標的型メール攻撃やビジネスメール詐欺などを含む、メールによるセキュリティ脅威を指します。
3	Phish Alert	ユーザーがお客さま管理者へメール通知するアプリケーションです。OutlookのツールバーやMicrosoft 365やGoogle Workspace のブラウザへアドインします。
4	PAB	Phish Alert Buttonの略称。Phish AlertアプリケーションのGUIのボタンです。
5	コンソール(Console)	お客さま管理者がKnowBe4サービスを利用するWebサイトのコンソールです。セキュリティ教育のトレーニングやフィッシングメール訓練の設定や、ユーザーの学習状況を確認します。
6	キャンペーン	ユーザーへ実施するセキュリティ教育やフィッシングメール訓練のイベントです。

# A 初期設定

# A-1 初期ログイン



- KnowBe4 コンソール (<https://training.knowbe4.com>) へアクセスしてください
- ① Emailにお申し込み時に記載された管理者メールアドレスを入力します。
- ② 「Next」をクリックします。



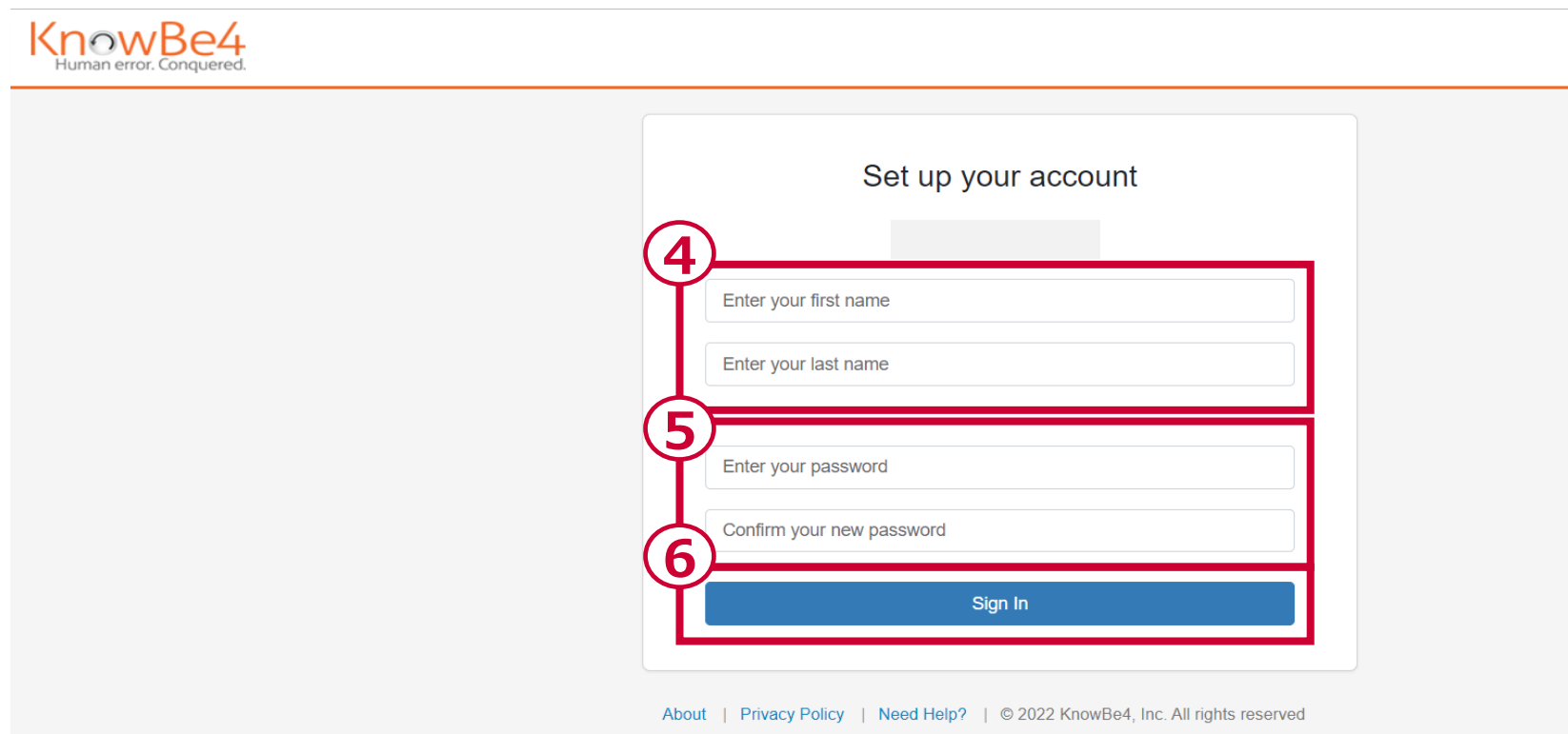
- サインアップの画面が表示され、アカウント有効化のHTMLメールがお申し込み時に記載された管理者メールアドレスへ送信されます。
- KnowBe4社 ([do-not-reply@knowbe4.com](mailto:do-not-reply@knowbe4.com)) からのメールを確認したらこの画面を閉じてください。

# A-1 初期ログイン



アカウント有効化のHTMLメールを開きます。

③ 「アカウントを有効化」をクリックします。



④ 「Enter your first name」、「Enter your last name」に名・姓を入力します。  
※アルファベット/ひらがな/カタカナ/漢字可

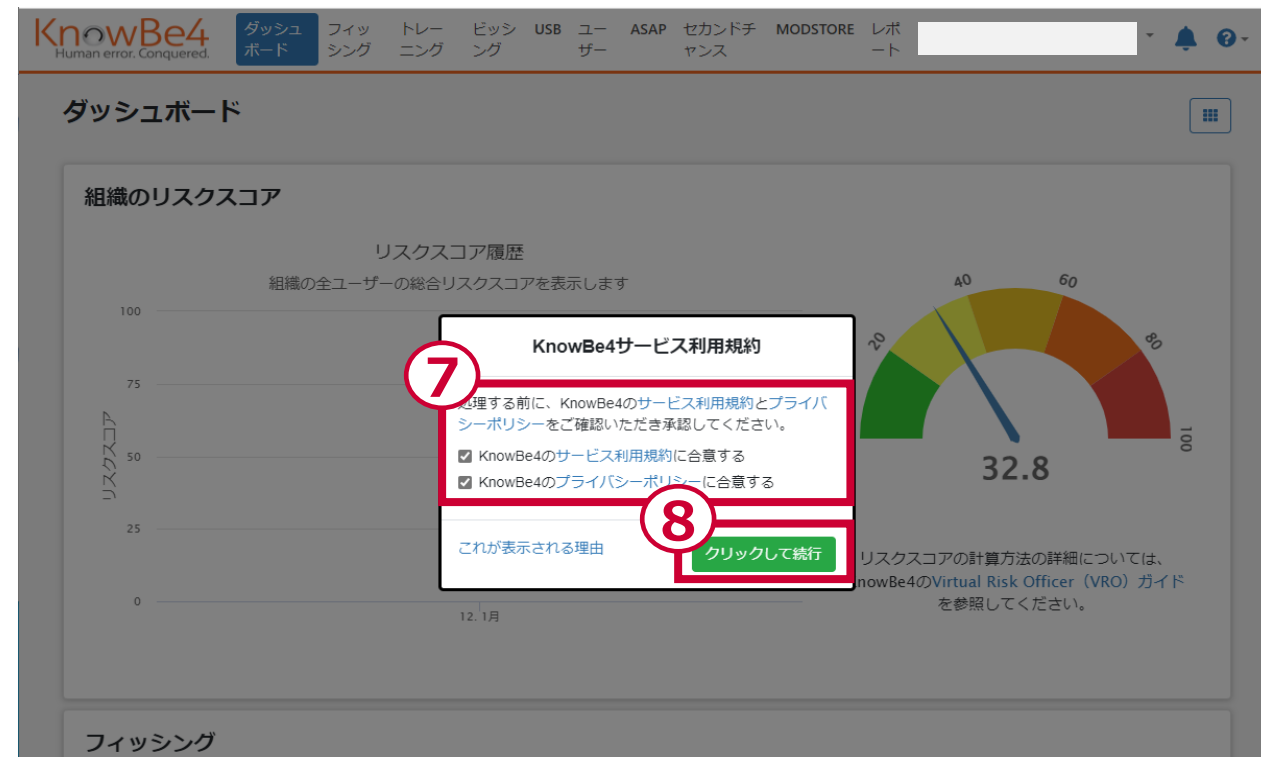
⑤ 「Enter your Password」、「Confirm your new password」に任意のパスワードを入力します。※8～128文字

⑥ 「Sign In」をクリックします。

# A-1 初期ログイン

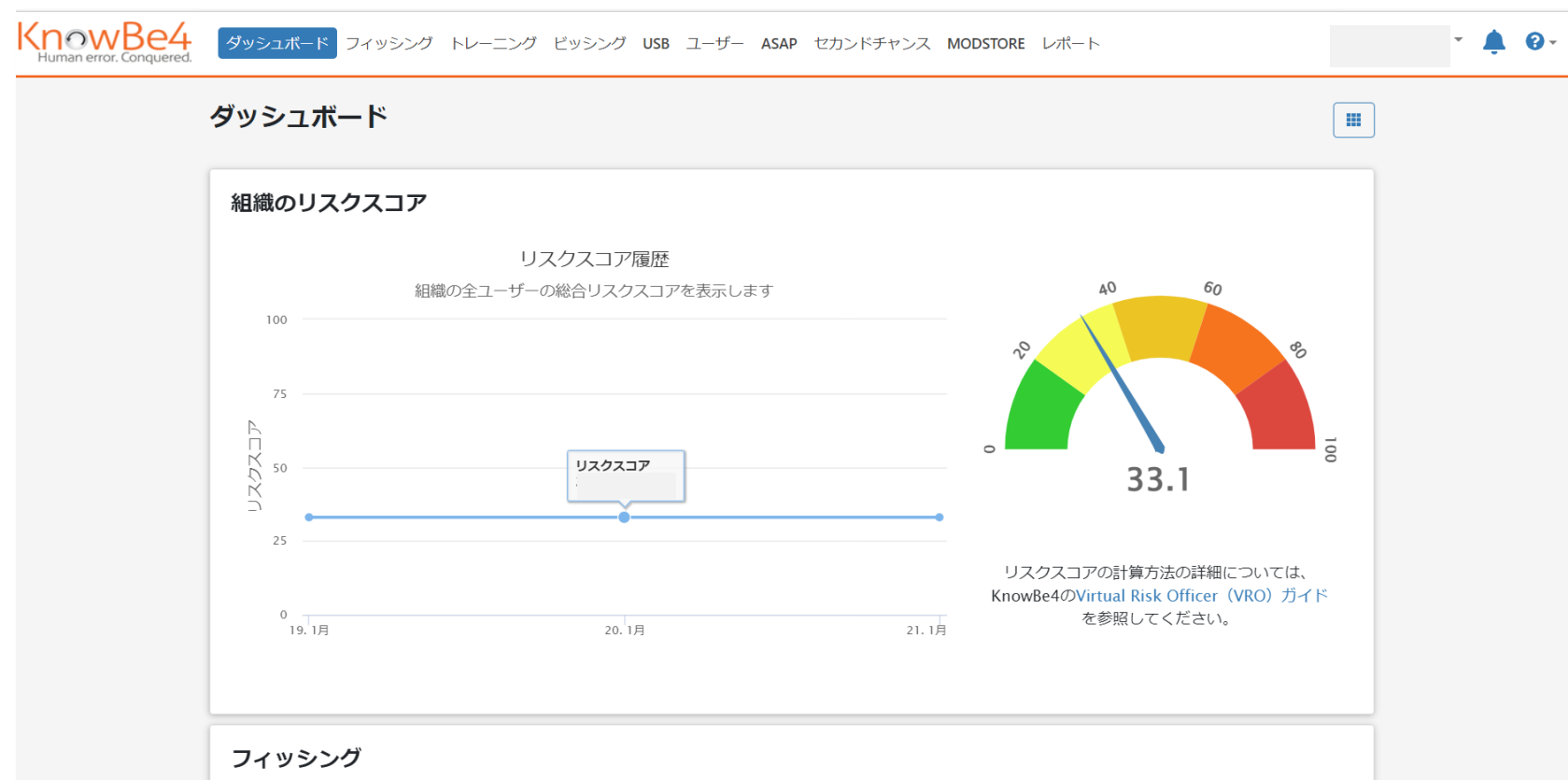
つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business



⑦「サービス利用規約」と「プライバシーポリシー」をそれぞれクリックし内容を確認後、「KnowBe4のサービス利用規約に同意する」「KnowBe4のプライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。

⑧「クリックして続行」をクリックします。



コンソールにログイン完了です。

# A-2 多要素認証の設定

※任意設定です。必須ではありません。

※認証コードを3回誤ると1時間ロックがかかります。すぐにロックを解除したい場合は、管理者側で多要素認証を無効化しユーザー側で多要素認証を再設定してください。

このスクリーンショットは「ユーザープロフィール」ページの「多要素認証」セクションを示しています。右側のメニューで「プロフィール」が選択されています。多要素認証のトグルが「有効にする」に設定されています。

①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「プロフィール」をクリックします。

③「多要素認証」の「有効にする」をクリックします。

このスクリーンショットはMFAの有効化ダイアログボックスを示しています。QRコードが表示され、認証アプリケーションを使用してスキャンするか、コードを入力するかを選択できます。ワンタイムパスワードの入力欄も表示されています。

④認証アプリケーションを使用してQRコードをスキャンまたはコードを入力します。  
※推奨している認証アプリケーションはAuthy、Google Authenticator、LastPassです。

⑤認証アプリケーションに表示されるワンタイムパスワードを入力します。

多要素認証が有効になりました。

# A-3 グループの作成

セキュリティ教育やフィッシングメール訓練を実施する前に、あらかじめ対象者をまとめた任意のグループを作成します。



①メインメニューから「ユーザー」をクリックします。

②「グループ」をクリックします。

③「+新しいグループの作成」をクリックします。



④グループ名を入力します。

⑤「グループ作成」をクリックします。

グループが登録されました。

# A-4 ユーザーの作成

セキュリティ教育やフィッシングメール訓練を実施する対象者のユーザーアカウントを作成します。



①メインメニューから「ユーザー」をクリックします。

②「ユーザーのインポート」をクリックします。



③「CSVのインポート」をクリックします。

※直接メールアドレスを入力して登録する場合は「クイックインポート」をご利用ください。

④CSVファイル（UTF-8形式）を作成し、アップロードしてください。

※CSVファイルの作成例

	A	B
1	Email	Group
2	test1@kb4-demo.com	test1（グループ名）
3	test2@kb4-demo.com	test2（グループ名）
4	test3@kb4-demo.com	test3（グループ名）

管理者権限のユーザーを作成する場合は、Groupに「管理者」を指定してください。

初期設定では、お申し込み時に記載いただいた管理者さまを「管理者」グループに追加してユーザー作成しています。

⑤「ユーザーのインポート」をクリックします。

ユーザーが登録されました。

各ユーザーにユーザーマニュアルを配布し、各自初期設定を行ってください。

# A-5 ホワイトリスト登録

※ここでは「Microsoft365」の設定手順を説明します。「Microsoft365」以外の設定方法は以下をご参照ください。  
[データとスパム対策フィルタ情報のホワイトリスト登録 - ナレッジベース \(knowbe4.com\)](https://knowbe4.com)

※Microsoft365等のお客さま環境の設定については、お客さまにてご確認ください。

適切な初期設定を行わずに訓練メールを送信するとMicrosoft365のセキュリティ機能により訓練メールがブロックされてしまいます。そのため、訓練メールが誤ってブロックされないよう、以下のようにKnowBe4とMicrosoft365で設定を行う必要があります。

- **KnowBe4での設定（DKIM署名の設定）**

KnowBe4から送信される訓練メールにDKIM署名を付与する設定をします。

これによりMicrosoft365側でスパム判定されにくくなります。

- **Microsoft365での設定（ホワイトリストの設定）**

訓練メールが検疫もしくは迷惑メール判定されないように訓練メール送信元のIPおよびドメインを設定します。

※既存のメール環境への影響はありません

# A-5 ホワイトリストの登録

## ・ KnowBe4での設定（DKIM署名の設定）



①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「アカウント設定」をクリックします。

③「フィッシング」をクリックします。



④「DKIM署名の有効化」にチェックを入れます。

⑤「KnowBe4の署名ドメインを使用」をクリックします。

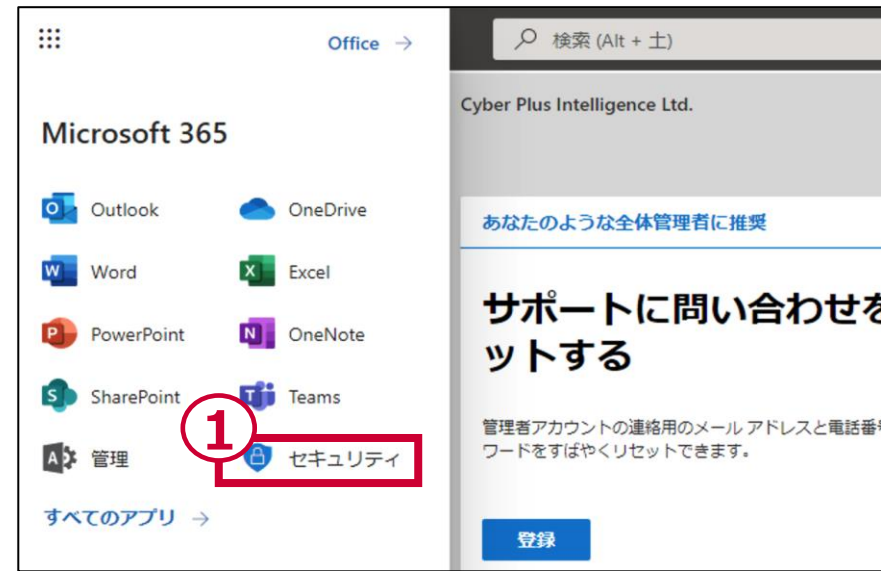
⑥「DKIM設定の保存」をクリックします。

⑦「変更を保存」をクリックします。

続いてMicrosoft365での設定を行います。

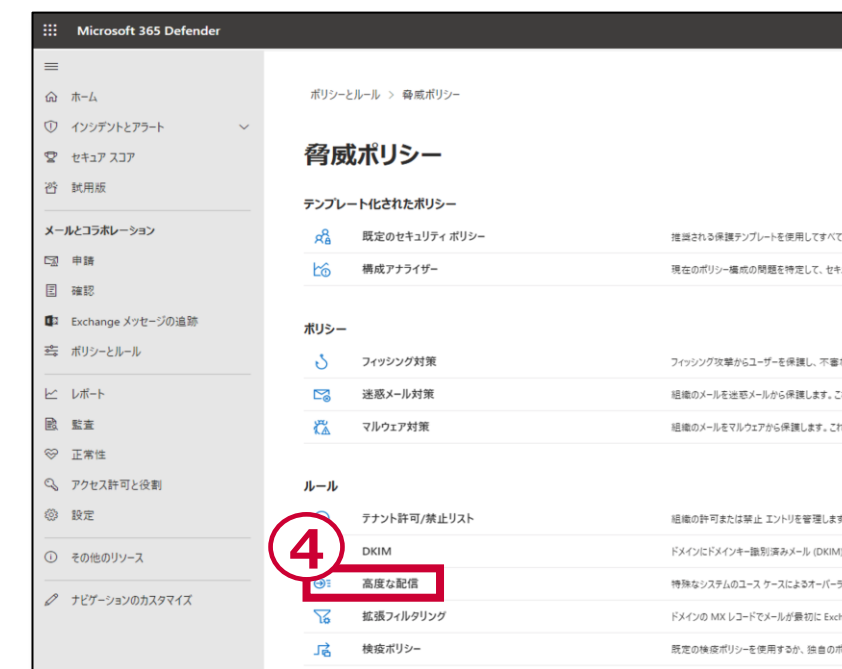
# A-5 ホワイトリストの登録

## ・ Microsoft365での設定 (ホワイトリストの設定)



① Microsoft365管理センターのメニューから「セキュリティ」をクリックします。

② 「ポリシーとルール」をクリックします。



③ 「脅威ポリシー」をクリックします。

④ 「高度な配信」をクリックします。

# A-5 ホワイトリストの登録

## ・ Microsoft365での設定（ホワイトリストの設定）

ポリシーとルール > 脅威ポリシー > 高度な配信

### 高度な配信

SecOps メールボックス **フィッシングのシミュレーション**

編集 更新

値	種類
147.160.167.0/26	Sending IP
23.21.109.197	Sending IP
23.21.109.212	Sending IP
psm.knowbe4.com	Sending Domain
ispsservices.org	Sending Domain

送信側ドメイン  
psm.knowbe4.com  
ispsservices.org

IPの送信  
147.160.167.0/26  
23.21.109.197  
23.21.109.212

送信側ドメイン (2 アイテム)  
psm.knowbe4.com x ispsservices.org x

IP の送信 (3 アイテム)  
147.160.167.0/26 x 23.21.109.197 x 23.21.109.212 x

許可するシミュレーション URL (0 アイテム)

保存 キャンセル

⑤ 「フィッシングのシミュレーション」をクリックします。

⑥ 「送信側ドメイン」「IPの送信」を左記の通りに設定します。

⑦ 「保存」をクリックします。

Microsoft 365 Defender

ポリシーとルール > 脅威ポリシー > 高度な配信

### 高度な配信

SecOps メールボックス **フィッシングのシミュレーション**

編集 更新 5 個のアイテム

値	種類	日付
147.160.167.0/26	Sending IP	
23.21.109.197	Sending IP	
23.21.109.212	Sending IP	
psm.knowbe4.com	Sending Domain	
ispsservices.org	Sending Domain	

正しく設定されていることを確認します。

以上でホワイトリストの設定は完了です。

# A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除

お客さま環境によっては、フィッシングメール訓練の際、ランディングページ（訓練メール内のリンクをクリックした場合に表示されるWebページ）にアクセスできない場合があります。そのため、以下の手順でランディングページと、フィッシングリンクのドメインを確認し、お客さま環境のURLフィルタリングの閲覧制限の解除を行ってください。

## ・ランディングページのドメイン確認

The screenshot shows the 'フィッシング' (Phishing) section of the NTT Docomo Business portal. The steps are as follows:

1. Click on 'フィッシング' in the main menu.
2. Click on 'メールテンプレート' (Email Template) in the sub-menu.
3. Click on the '管理型テンプレート' (Management Template) tab. In the list below, click on the template '1-01 新型コロナウイルス対策ポリシーの更新'.
4. In the 'ランディングドメイン' (Landing Domain) field, confirm the domain is 'デフォルト (secured-login.net)'.

Below the table, there is a note: 「基本”それダメ!”ランディングページ (多言語)」

- ①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。
- ②「メールテンプレート」をクリックします。
- ③使用するテンプレートをクリックします。  
（この例では、「管理型テンプレート」の「1-01」をクリック）
- ④ランディングドメインに設定されているURLを確認します。

スタートアップ編では以下のランディングページの使用を推奨しています。  
 カテゴリ：管理型ランディングページ  
 「基本”それダメ!”ランディングページ (多言語)」

# A-6 URLフィルタリングの閲覧制限の解除

## ・フィッシングリンクのドメイン確認

フィッシングキャンペーンの作成で、フィッシングリンクのドメインを「ランダムドメイン」のデフォルト設定とする場合は次のKnowBe4のドメインすべて、指定する場合はそのドメインをお客さま環境のURLフィルタリングの閲覧制限の解除を行ってください。（フィッシングキャンペーンの作成についてはC-3を参照ください）

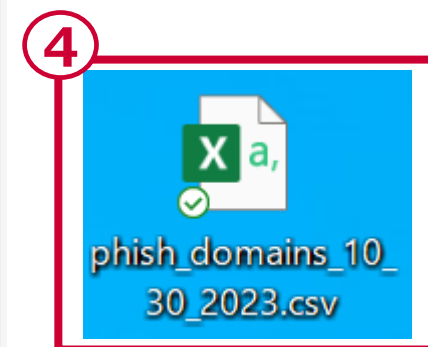
ドメイン名	ルートドメイン	追加済	ドメインタイプ	返信先
05kqatnrJ9s0sNAh9.phish.farm	phish.farm	2015/05/20	システム	
2fa.com-token-auth.com	com-token-auth.com	2016/09/22	システム	✓
34.75.2o2.lol	2o2.lol	2023/10/23	システム	
451.fahrenheit.net	fahrenheit.net	2021/02/09	システム	
addto.password.land	password.land	2023/10/23	システム	
apple.my-cloud-mail.com	my-cloud-mail.com	2021/02/09	システム	
bofa.com-onlinebanking.com	com-onlinebanking.com	2023/10/23	システム	✓

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「ドメイン」をクリックします。

③「CSVのダウンロード」をクリックしてダウンロードします。

④CSVファイルを開いてフィッシングリンクのドメインを確認します。  
（CSVファイルの内容は、フィッシングリンクのドメイン画面に表示されているものです）



	A	B	C	D	E	F
1	Domain N	Root Domain	Created A	Domain T	Reply-To	Hidden
2	online-ba	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
3	en-us.sec	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
4	mail.kb4.i	kb4.io	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
5	breakingn	comano.us	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
6	secure-m	magnetronics.com	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
7	socialmed	bloemlight.com	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE
8	messaging	comano.us	07/04/20	legacy	FALSE	FALSE

フィッシングリンクのドメインはアナウンスなく不定期に変更されますので、「ランダムドメイン」を利用する場合は、お気を付けください。  
今までの実績では、変更は1年に1回あるかないかの程度です。

# A-7 Phish Alertボタンの配布

つながろう。驚きを。幸せを。

※ここでは「Outlook」への標準インストール手順を説明します。Outlook以外のインストール方法は以下をご参照ください。  
[Phish Alertボタン \(PAB\) 製品マニュアル - ナレッジベース \(knowbe4.com\)](#)



## Phish Alertボタン利用時の注意点

プロキシがある場合は、次のアクセス先に対してプロキシまたはプロキシ認証をバイパス設定する必要があります。

- outlook.office365.com
- outlook.office.com
- \*.knowbe4.com

①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「アカウント設定」をクリックします。

③「アカウント統合」の「Phish Alert」をクリックします。

④「非シミュレーションメールの送信先」にPhish Alertボタンの通知を受け取る管理者のメールアドレスを入力します。  
※メーリングリストや本サービスお申し込み時に登録しているドメイン以外のメールアドレスも設定可能です。

⑤「言語」を選択します。

※「+」を押すと編集画面が表示されメッセージ等をカスタマイズできます。

⑥「Phish Alert設定の保存」をクリックします。

※ MicrosoftリボンPAB製品マニュアルは[こちら](#)

※「PABのバージョン選択」が「MicrosoftリボンPAB」以外の場合は次ページの画面表示となります



# A-7 Phish Alertボタンの配布

つながろう。驚きを。幸せを。

「PABのバージョン選択」が「ハイブリッドPAB」の場合の表示

PABのバージョンの選択  
ハイブリッドPAB

設定名  
NTT Communications Corporation 1

アイコン  
Choose a file or drop it here... Browse

ライセンスキー  
USCCAFB4F6C4A766A2B0C368E583D6149

メールフォーマット:  
EML MSG

非シミュレーションメールの送信先:  
com

Microsoft 365 Defenderインテグレーションを有効化  
PABの言語を使用してフィッシング言語を自動入力

メール転送を有効化  
報告されたメールから元の本文を除外する

メールヘッダーをテキスト添付ファイルとして送信  
報告されたメッセージのヘッダーを転送されたメッセージの本文に追加します

ユーザーによるコメントおよび整理を許可する

言語  
+ 日本語 (デフォルト)

Phish Alert設定の保存

Microsoft製品のPABマニフェスト (PhishAlertManifest.xml)  
ガイドの表示 ダウンロード  
Microsoftの権限を許可してPAB用のGRAPH APIを承認します。  
GRAPH APIのNAA-SSOを承認する

「PABのバージョン選択」が「クライアントPAB」の場合の表示

PABのバージョンの選択  
クライアントPAB

設定名  
NTT Communications Corporation 1

アイコン  
Choose a file or drop it here... Browse

ライセンスキー  
USCCAFB4F6C4A766A2B0C368E583D6149

メールフォーマット:  
EML MSG

非シミュレーションメールの送信先:  
com

Microsoft 365 Defenderインテグレーションを有効化  
PABの言語を使用してフィッシング言語を自動入力

報告されたメールから元の本文を除外する  
報告されたメッセージのヘッダーを転送されたメッセージの本文に追加します

ユーザーによるコメントおよび整理を許可する

言語  
+ 日本語 (デフォルト)

Phish Alert設定の保存

Windows向けOutlook PABインストーラ (PhishAlertButtonSetup.exe)  
ガイドの表示 ダウンロード

「PABのバージョン選択」が「Google PAB」の場合の表示

PABのバージョンの選択  
Google PAB

※ Gmail PABアドオン製品マニュアルは[こちら](#)

設定名  
NTT Communications Corporation 1

アイコン  
Choose a file or drop it here... Browse

ライセンスキー  
USCCAFB4F6C4A766A2B0C368E583D6149

メールフォーマット:  
EML MSG

非シミュレーションメールの送信先:  
com

PABの言語を使用してフィッシング言語を自動入力  
メール転送を有効化

報告されたメールから元の本文を除外する  
PABの自動アクティベーションを有効化

ユーザーによるコメントおよび整理を許可する

言語  
+ 日本語 (デフォルト)

Phish Alert設定の保存

Gmail PABアドオンマジックメールを送信

「PABのバージョン選択」が「Chrome PAB」の場合の表示

PABのバージョンの選択  
Chrome PAB

※ Chrome Gmail PAB向けPABガイドは[こちら](#)

設定名  
NTT Communications Corporation 1

アイコン  
Choose a file or drop it here... Browse

ライセンスキー  
USCCAFB4F6C4A766A2B0C368E583D6149

メールフォーマット:  
EML MSG

非シミュレーションメールの送信先:  
com

PABの言語を使用してフィッシング言語を自動入力

言語  
+ 日本語 (デフォルト)

Phish Alert設定の保存

Chrome Extension PAB設定ファイル (phish\_alert\_configuration.json)  
ガイドの表示 ダウンロード

# A-7 Phish Alertボタンの配布



⑦ ライセンスキー  
USCCAFCB4F6C4A766A2B8C368E5B3D6149

⑧ MicrosoftリボンPAB (PhishAlertManifestMSR.xml)  
ガイドの表示 ダウンロード

⑦ ライセンスキーをコピーします。

⑧ 「MicrosoftリボンPAB (PhishAlertManifestMSR.XML)」をダウンロードします。

ライセンスキーとダウンロードファイルをユーザーへ配布し、ユーザーマニュアルの手順に従いPhish Alertボタンを各自インストールしてください。



## ユーザーがPhish Alertボタンを押した場合の動作

### 訓練メールの場合

「ダッシュボード」の「Phish Alertボタン」の「シミュレーションメール」にカウントされます。

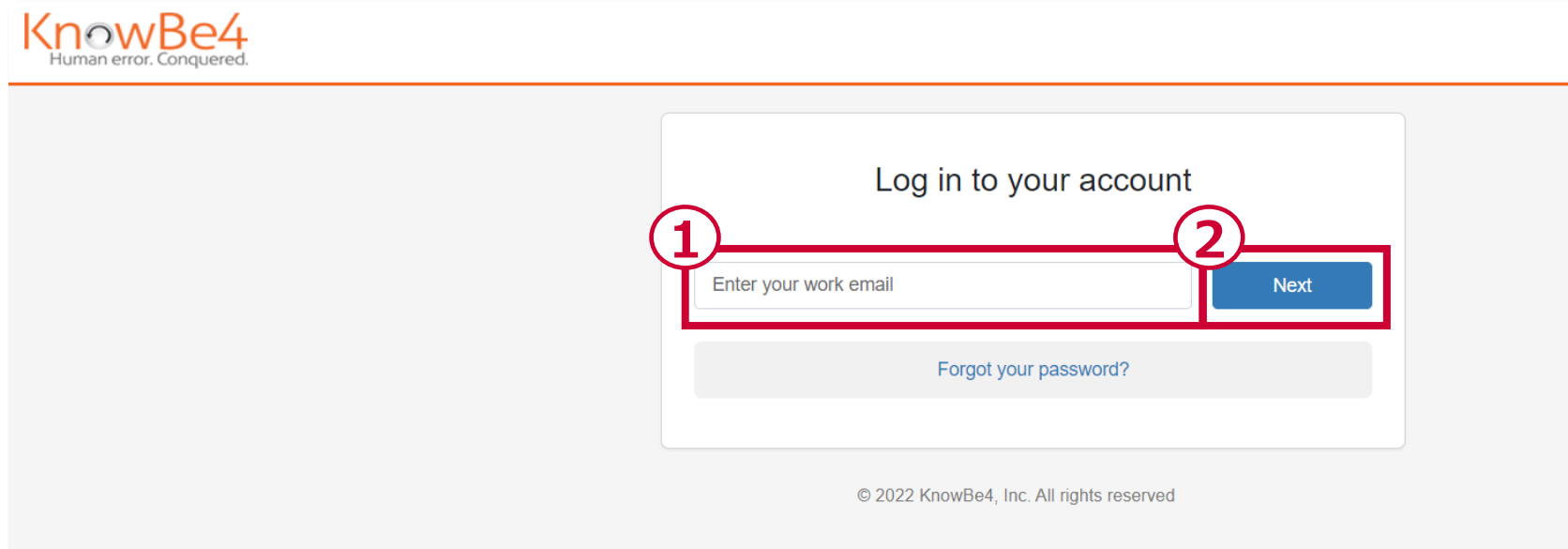
### 訓練メールではない場合（実際のフィッシングメール）

「ダッシュボード」の「Phish Alertボタン」の「非シミュレーションメール」にカウントされ、かつ設定した「非シミュレーションメールの送信先」にメールが転送されます。  
送信元アドレス：Phish Alertボタンを押したユーザーのメールアドレス  
件名： [Phish Alert] FW：～～

転送メールを受け取った後は管理者にて適切に対応してください。

# B セキュリティ教育（トレーニング）

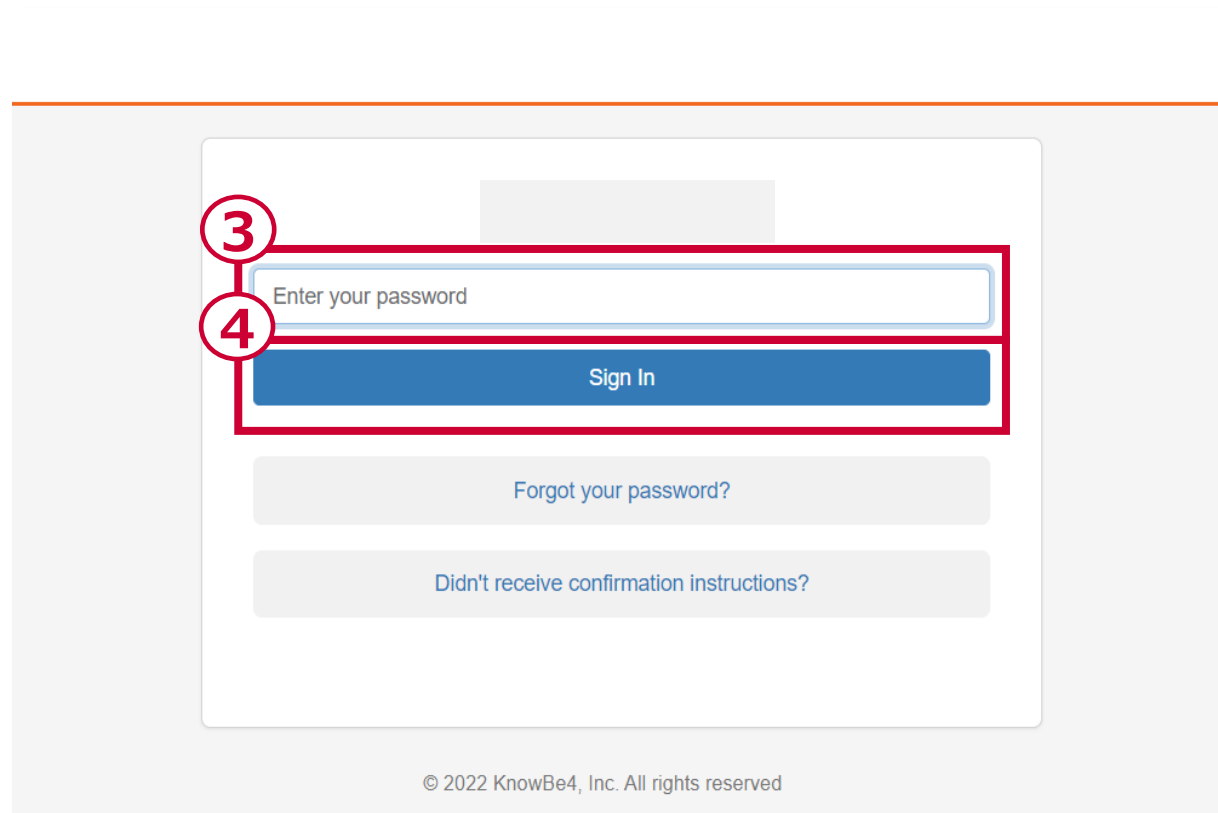
# B-1 ログイン



KnowBe4 (<https://training.knowbe4.com>) へアクセスします。

①登録済みのメールアドレスを入力します。

②「Next」をクリックします。



③登録済みのパスワードを入力します。

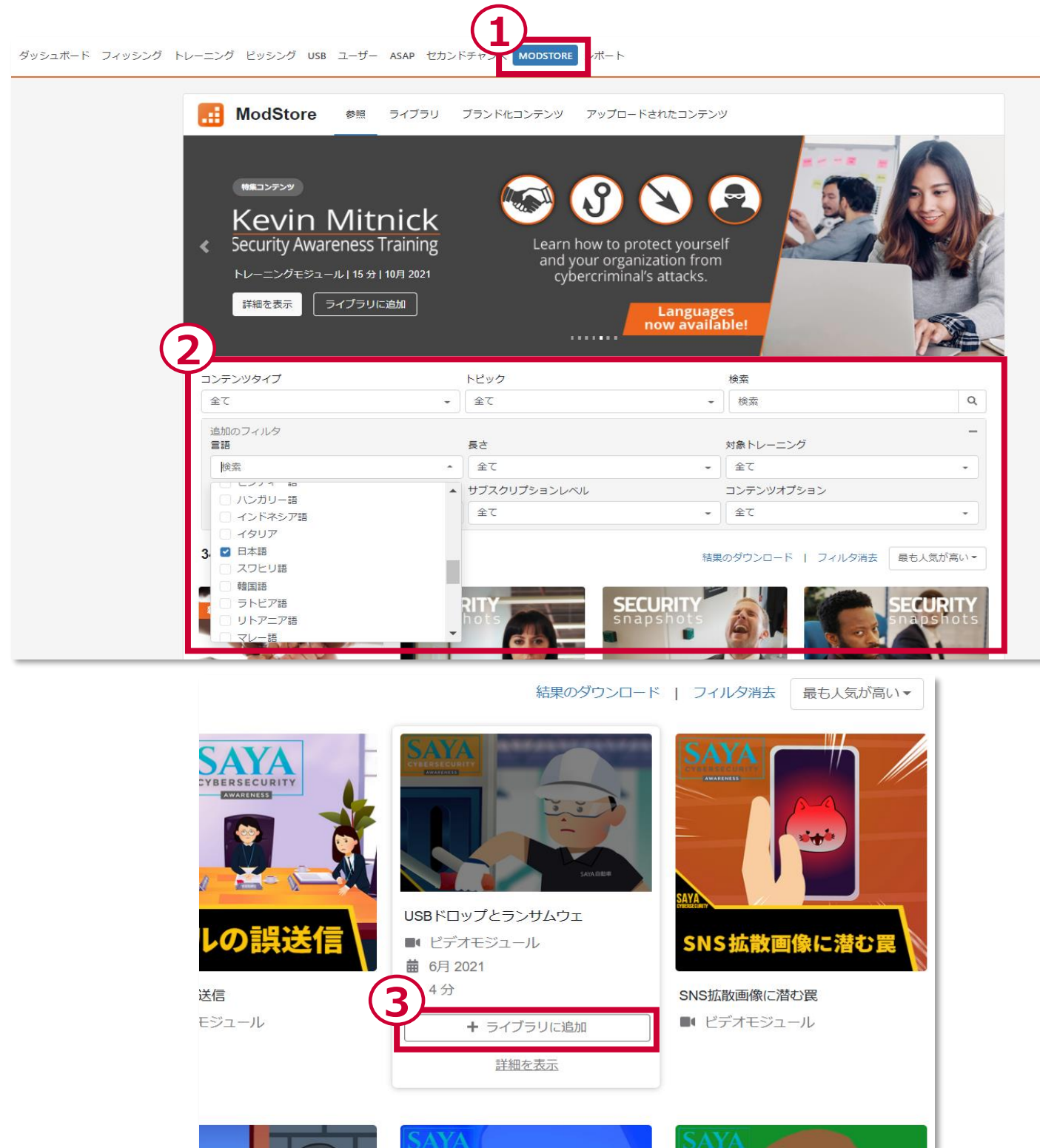
④「Sign In」をクリックします。

コンソールにログイン完了です。

# B-2 トレーニングコンテンツの選定

※NTTドコモビジネスオリジナルコンテンツを使用する場合は、B-2の手順は不要です。B-3へ進んでください。

セキュリティ教育で使用するコンテンツを、あらかじめライブラリへ登録します。



①メインメニューから「MODSTORE」をクリックします。

②フィルタから希望の条件を選択しチェックを入れます。

検索結果が自動で表示されます。

### 参考：おすすめトレーニングコンテンツ

- ・セキュリティ スナップショット第1話-12話（ビデオモジュール）
- ・セキュリティ モーメント シリーズ：不正リンクを見破れ（ビデオモジュール）
- ・ランサムウェアから身を守る方法（トレーニングモジュール）
- ・フィッシングの基礎（トレーニングモジュール）

③検索結果からトレーニングに使用したいコンテンツにカーソルを合わせ、「ライブラリに追加」をクリックします

※「詳細を表示」からコンテンツのプレビューを確認することもできます。

ライブラリにコンテンツが登録されました。

# B-3 トレーニングキャンペーンの作成

トレーニングキャンペーンを作成します。



①メインメニューから「トレーニング」をクリックします。

②「キャンペーン」をクリックします。

③「+トレーニングキャンペーンの作成」をクリックします。

新しいトレーニングキャンペーンの作成 [← トレーニングに戻る](#)

① キャンペーン名

② 開始日 09:00 (GMT+09:00) 東京

③ 終了日 特定の日付 期間 終了日なし

日時の選択 23:59

期限後であっても課題の完了を許可する

④ 内容 リストから1つまたは複数の項目を選択します...

コンテンツのアンケートを有効にする

スコアの追跡

グループの登録 全ユーザー 特定グループ

⑤ リストから1つまたは複数のグループを選択します...

新規ユーザーの自動登録を有効にする

補習トレーニングの進捗のリセットを有効にする

受講済みユーザーを追加するグループ リストから1つまたは複数のグループを選択します...

受講済みユーザーを削除するグループ リストから1つまたは複数のグループを選択します...

⑥ 通知 + 通知の追加

キャンペーンの作成

注：キャンペーンを作成または有効にした後、キャンペーンが開始するまでに最大で10分程度かかる場合があります。

概要 | プライバシーポリシー | ヘルプ? | © 2022 KnowBe4, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

① **キャンペーン名**：任意のキャンペーン名を入力します。

② **開始日**：キャンペーンの開始日を指定します。

③ **終了日**：キャンペーンの終了日を指定します。

④ **内容**：事前にライブラリに登録しているトレーニングコンテンツを選択します。（複数選択可）

### ★NTTドコモビジネスオリジナルコンテンツ

「アップロードされたコンテンツ」からNTT ドコモビジネスオリジナルコンテンツが選択できますので、ぜひご活用ください。

⑤ **グループの登録**：事前に作成した、トレーニングを実施するグループを選択します。（複数選択可）

⑥ **通知**：「通知の追加」をクリックします。

# B-3 トレーニングキャンペーンの作成



※マネージャーにチェックすると、ユーザーのマネージャーにも通知することができます。  
(ユーザー情報からマネージャー情報の登録が必要)  
※管理者にチェックすると管理者権限のユーザーにも通知することができます。



以下を参考にキャンペーン内容を設定します。(続)

⑦通知タイプ: 通知タイプを設定します。

通知タイプ: 「ようこそ」を選択します。

受信者: 「ユーザー」にチェックをいれます。

テンプレートの選択: 「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングの開始 (From KnowBe4)」を選択します。

保存: 「保存」をクリックします。

※キャンペーン開始時間にユーザに自動でメール通知をします。

⑧「+通知の追加」をクリックし、以下2つの通知も設定します。

通知タイプ: 「期日前のリマインダー」を選択します。

リマインダーの送信: 期日の何日前に送信するか日数を入力します。

受信者: 「ユーザー」にチェックをいれます。

テンプレートの選択: 「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングのリマインダー (From KnowBe4)」を選択します。

保存: 「保存」をクリックします。

※設定した期日前にユーザーに自動でメール通知をします。

通知タイプ: 「キャンペーン終了」を選択します。

受信者: 「ユーザー」にチェックをいれます。

テンプレートの選択: 「NTTドコモビジネス」カテゴリから「トレーニングの終了 (From KnowBe4)」を選択します。

保存: 「保存」をクリックします。

※トレーニングの受講を完了するとユーザーに自動でメール通知をします。

⑨全て設定が完了したら「キャンペーンの作成」をクリックします。

トレーニングキャンペーンが開始されました。

# B-4 進捗・結果の確認

トレーニングキャンペーン開始後は進捗や結果をキャンペーン毎に確認できます。



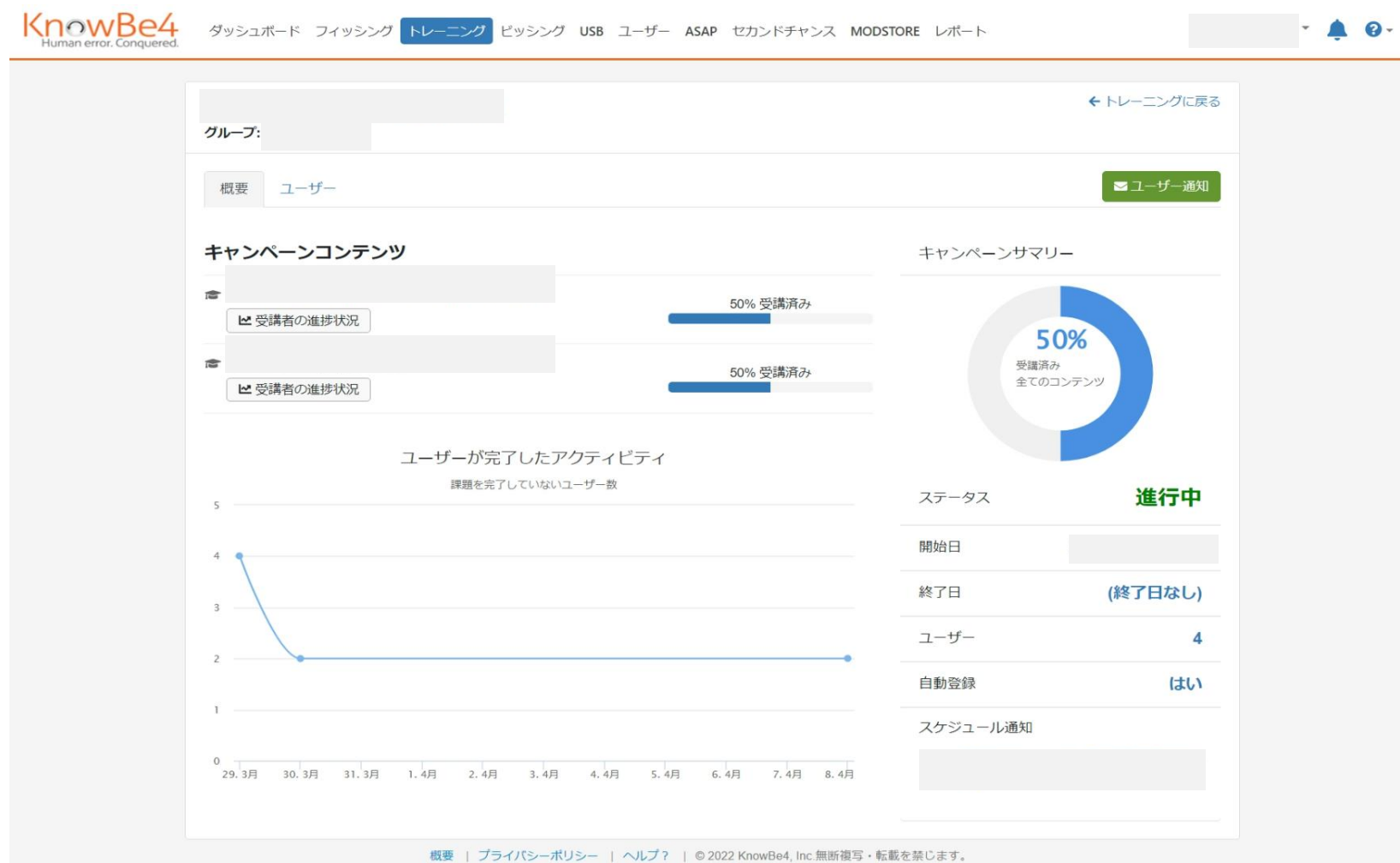
①メインメニューから「トレーニング」をクリックします。

②任意のキャンペーン名をクリックします。

・「概要」タブではトレーニングキャンペーンの進捗を確認できます。

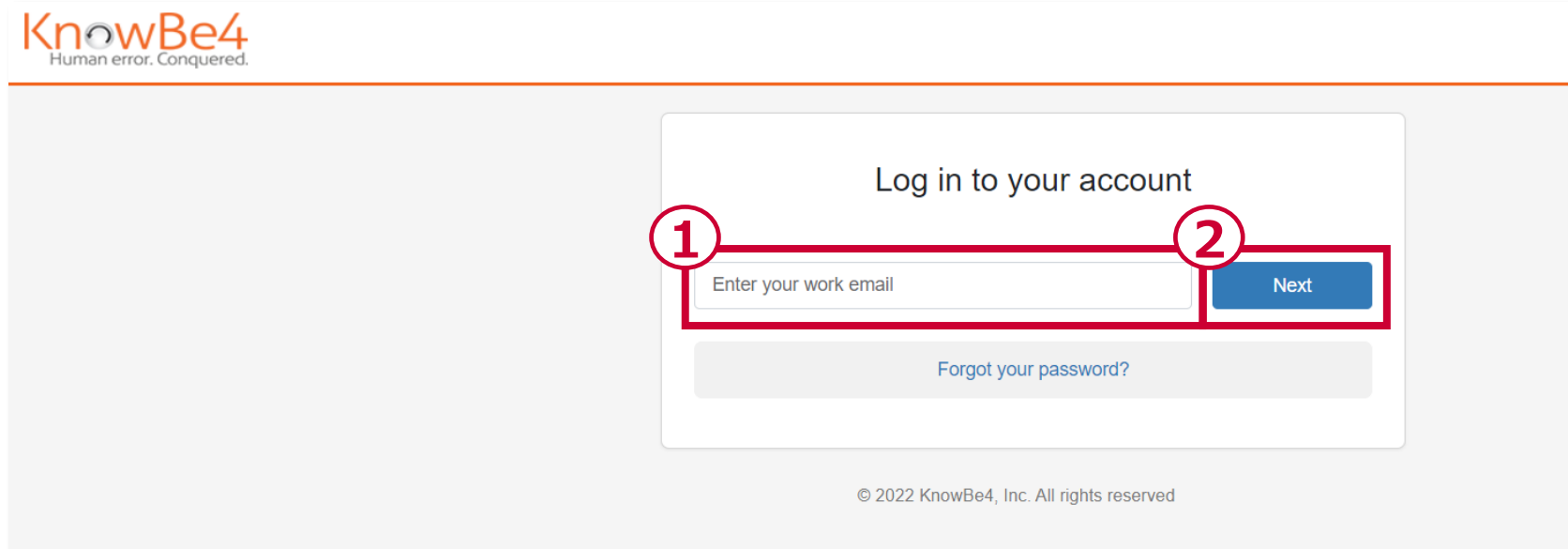
・「ユーザー」タブではトレーニングキャンペーンに参加しているユーザー毎の受講状況を確認できます。

・「調査結果」タブではトレーニングキャンペーンに使用しているコンテンツの有用性を確認できます。



# C フィッシングメール訓練（フィッシング）

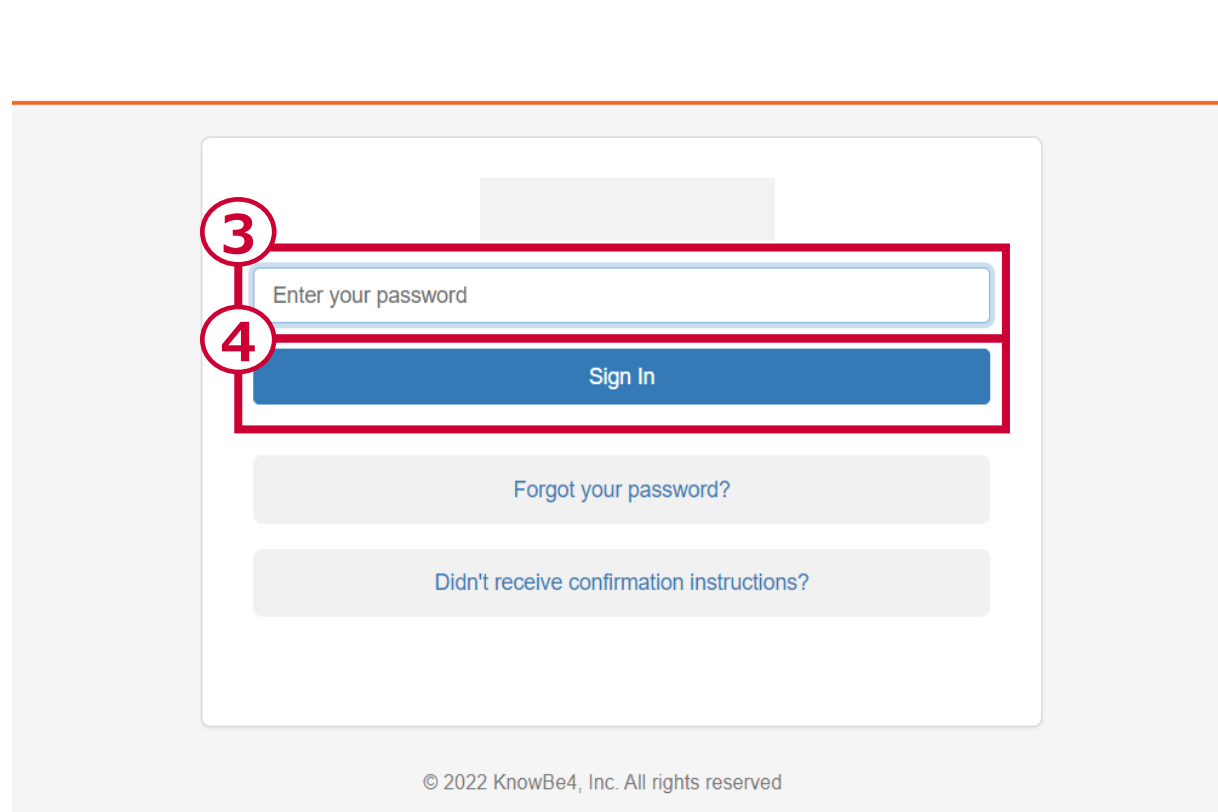
# C-1 ログイン



KnowBe4 (<https://training.knowbe4.com>) へアクセスします。

①登録済みのメールアドレスを入力します。

②「Next」をクリックします。



③登録済みのパスワードを入力します。

④「Sign In」をクリックします。

コンソールにログイン完了です。

# C-2 訓練メールの選定

※NTTドコモビジネスオリジナルメールテンプレートを使用する場合は、C-2の手順は不要です。C-3へ進んでください。

フィッシングメール訓練で使用するフィッシングメールテンプレートを、あらかじめマイカテゴリへ登録します。

①

②

③

この画面は、フィッシングメールテンプレートの管理画面の初期状態を示しています。上部には「フィッシング」メニューが強調されています。中央には「メールテンプレート」タブが選択されており、「+追加」ボタンも強調されています。下部にはテンプレート名、アップデート済、難易度、カテゴリ、アクションの列が並び、現在は「このカテゴリは空です」と表示されています。

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「メールテンプレート」をクリックします。

③「+追加」をクリックします。

④

⑤

この画面は、フィッシングメールテンプレートの登録画面の最終段階を示しています。上部には「メールテンプレート」タブが選択されています。下部には「カテゴリ名」の入力欄が強調されており、「保存」ボタンも強調されています。下部にはテンプレート名、アップデート済、難易度、カテゴリ、アクションの列が並び、現在は「このカテゴリは空です」と表示されています。

④カテゴリ名を入力します。

⑤保存をクリックします。

# C-2 訓練メールの選定



⑥ 「システムテンプレート」をクリックします。

⑦ 全テンプレートの一覧から「Japanese」をクリックします。



⑧ 使用したいテンプレートを選択します。

※アクションの目のマークをクリックするとプレビューが確認できます。

**参考：おすすめメールテンプレート**

- ・ Microsoft: メールボックスが一杯です (リンク)
- ・ Microsoft Teams: 斎藤信也さんがメッセージを送信しました (リンク) (なりすましドメイン)
- ・ IT: サーバーの定期メンテナンスのため、インターネットに接続できません (Word添付ファイル) (なりすましドメイン)
- ・ Googleカレンダー: 人事部との勤務状況打ち合わせに対する招待状 (リンク) (ドメインのなりすまし)
- ・ Amazon: 注文確認 (リンク)

⑨ 「カテゴリに追加」をクリックし、追加したいカテゴリを選択します。

⑩ 「追加」をクリックします。

訓練メールがマイカテゴリに登録されました。

# C-3 フィッシングキャンペーンの作成

フィッシングキャンペーンを作成します。

ダッシュボード **フィッシング** トレーニング ピッシング USB ユーザー ASAP セカンドチャンス MODSTORE レポート

フィッシングセキュリティテストキャンペーン **+ フィッシングキャンペーンの作成**

概要 キャンペーン メールテンプレート ランディングページ ドメイン 無視対象IP レポート

新しいフィッシングキャンペーン [← キャンペーンに戻る](#)

注: キャンペーンは、有効化または作成されてから10分後に開始されます。

① キャンペーン名

② 送信先  全ユーザー  特定グループ ②  
1つまたは複数のグループを選択します...

③ 頻度  一度限り  毎週  隔週  毎月  四半期毎 ②

④ 開始時間  (GMT+09:00) 東京

⑤ 送信期間  キャンペーン開始時に全てのメールを送信 ②  
 メール送信間隔 3 営業日 ②

テスト実績の追跡 3 日 最後のメールが送信された後 ②  
 フィッシングメールへの返信を追跡 ②

⑥ テンプレートカテゴリ 1つまたは複数のカテゴリを選択します... 完全ランダム (各ユーザーにランダムメール送信)

ローカライズされたメールを送信 ②

難易度 全ての難易度 ②

⑦ フィッシングリンクのドメイン ランダムドメイン ②

⑧ ランディングページ デフォルトのランディングページ ②

クリッカーを追加するグループ グループ選択 ②

フィッシングテストの後に毎回、アカウント管理者にメールレポートを送信する  
 レポートに表示しない ②

⑨ **キャンペーンの作成**

概要 | プライバシーポリシー | ヘルプ? | © 2022 KnowBe4, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②「+フィッシングキャンペーンの作成」をクリックします。

以下を参考にキャンペーン内容を設定します。

①**キャンペーン名**：任意のキャンペーン名を入力します。

②**送信先**：事前に作成した、訓練を実施するグループを選択します。

③**頻度**：任意の頻度を設定します。

④**開始時間**：受信確認が可能な任意の時間を指定します。  
※キャンペーンの作成時間より10分以上経過した時間を設定してください。(時間が十分に空いていないとメールが送信されません。また、送信時間は数分遅れることがあります)

⑤**送信期間**：「キャンペーン開始時に全てのメールを送信」を選択します。

⑥**テンプレートカテゴリ**：事前に登録した訓練メールを「マイカテゴリ」から選択します。

★NTT ドコモビジネスオリジナルメールテンプレート  
「管理型」「NTTドコモビジネス」カテゴリからNTT ドコモビジネスオリジナルメールテンプレートが選択できますので、ぜひご活用ください。

⑦**フィッシングリンクのドメイン**：「ランダムドメイン」またはプルダウンで選択します。

⑧**ランディングページ**：「Managed>NTTドコモビジネス」カテゴリから「基本”それダメ!”ランディングページ (多言語)」を選択します。

⑨**全て設定が完了したら「キャンペーンの作成」をクリックします。**

フィッシングキャンペーンが開始されました。

# C-4 結果の確認

フィッシングキャンペーン開始後は結果をキャンペーン毎に確認できます。

①

ダッシュボード **フィッシング** トレーニング ピッシング USB ユーザー ASAP セカンドチャンス MODSTORE レポート

フィッシングセキュリティテストキャンペーン + フィッシングキャンペーンの作成

概要 **キャンペーン** メールテンプレート ランディングページ ドメイン 無視対象IP レポート

アクティブ 非アクティブ 非表示 全て ↓ フィッシング不合格のダウンロード

名前	グループ	テスト	フィッシング詐欺ヒット率%	最後のテスト	ステータス	長さ	アクション
一環限りカテゴリから: Japanese		1	25.0%		アクティブ	3日	

②

①メインメニューから「フィッシング」をクリックします。

②任意のキャンペーンをクリックします。

フィッシングセキュリティテスト開始日時:  ← キャンペーンに戻る

キャンペーン:

一環限り カテゴリから: Japanese

概要 **ユーザー** ■ ステータスレポートメールのプレビュー ↓ 不合格のダウンロード

最初の8時間での不合格数

日付別の不合格数

☆ フィッシングセキュリティテストの結果

ステータス **アクティブ**

フィッシング詐欺ヒット率% **75%**

受信者 **4**

不合格 **3**

キャンペーン終了日時

■ フィッシングメール

差出人:

宛先: **4 受信者**

返信先:

件名: メールアップグレードと移行のお知らせ

添付文書: 添付文書なし

フィッシングドメイン:

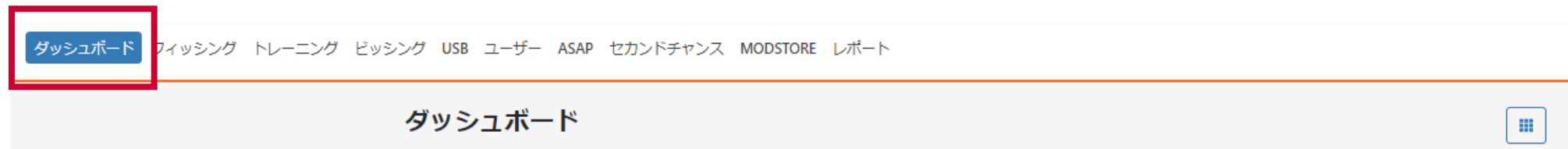
プレビュー: メールテンプレート  
ランディングページ

- ・「概要」タブではフィッシングキャンペーンのヒット率や不合格数を確認できます。
- ・「ユーザー」タブではキャンペーンに参加しているユーザー毎の結果を確認できます。

# D 評価・分析

# D-1 ダッシュボード

「ダッシュボード」では、キャンペーンの結果から様々な分析結果を確認できます。



### ダッシュボード

#### 組織のリスクスコア

リスクスコア履歴  
組織の全ユーザーの総合リスクスコアを表示します

リスクスコアの計算方法の詳細については、KnowBe4のVirtual Risk Officer (VRO) ガイドを参照してください。

#### フィッシング

フィッシングセキュリティテスト - 過去6か月

業界ベンチマークデータ

- アカウントの平均フィッシング詐欺ヒット率: **37.5%**
- 最後のキャンペーンのフィッシング詐欺ヒット率: **75%**
- 業界フィッシング詐欺ヒット率: **19.2%**

業界: テクノロジー  
組織の規模: 大規模 (1000コ)  
プログラムの運用期間: 90日

### Phish Alertボタン

0 インストール済 | 0 アンインストール済 | 0 合計報告数 | 0 シミュレーションメール | 0 非シミュレーションメール

#### セキュリティ意識レベルの実力評価 (SAPA)

ナレッジエリアごとのSAPAスコア  
完了済みアセスメントの平均

業界ベンチマークデータ

- 組織のSAPAスコア: **75%**
- 業界のSAPAスコア: **69.1%**

業界: テクノロジー  
組織の規模: 大規模 (1000コ)

#### セキュリティカルチャー評価 (SCS)

調査項目別のSCSスコア  
完了済み評価の平均

業界ベンチマークデータ

- 組織のSCSスコア: **該当なし**
- 業界のSCSスコア: **75**

業界: テクノロジー

あなたの組織は、セキュリティカルチャー評価を開始していません。詳細については、「SCSガイド」をご覧ください。

### トレーニング

全キャンペーンを表示 | + 新しいキャンペーン

進行中の最近のキャンペーン

0% 受講済み
0% 受講済み
50% 受講済み
100% 受講済み
50% 受講済み
33% 受講済み

#### ツール

##### Automated Security Awareness Program (ASAP) の開始

ASAPは、自社組織に合ったセキュリティ意識のトレーニングプログラムをカスタマイズして作成するためのツールです。達成する必要がある目標に関する質問を順番に問います。ASAPは、完成度の高いトレーニングプログラムを作成して実施するためタスクの推奨されるスケジュールを作成します。

[使ってみる](#)

概要 | プライバシーポリシー | ヘルプ? | © 2022 KnowBe4, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

# D-2 レポート

つながろう。驚きを。幸せを。

「レポート」ではキャンペーンの結果から10種類以上の様々なレポートを表示することができます。  
各レポートは、PDFまたはCSVでダウンロードすることができます。



ダッシュボード フィッシング トレーニング ビッシング USB ユーザー ASAP セカンドチャンス MODSTOR **レポート**

**報告**

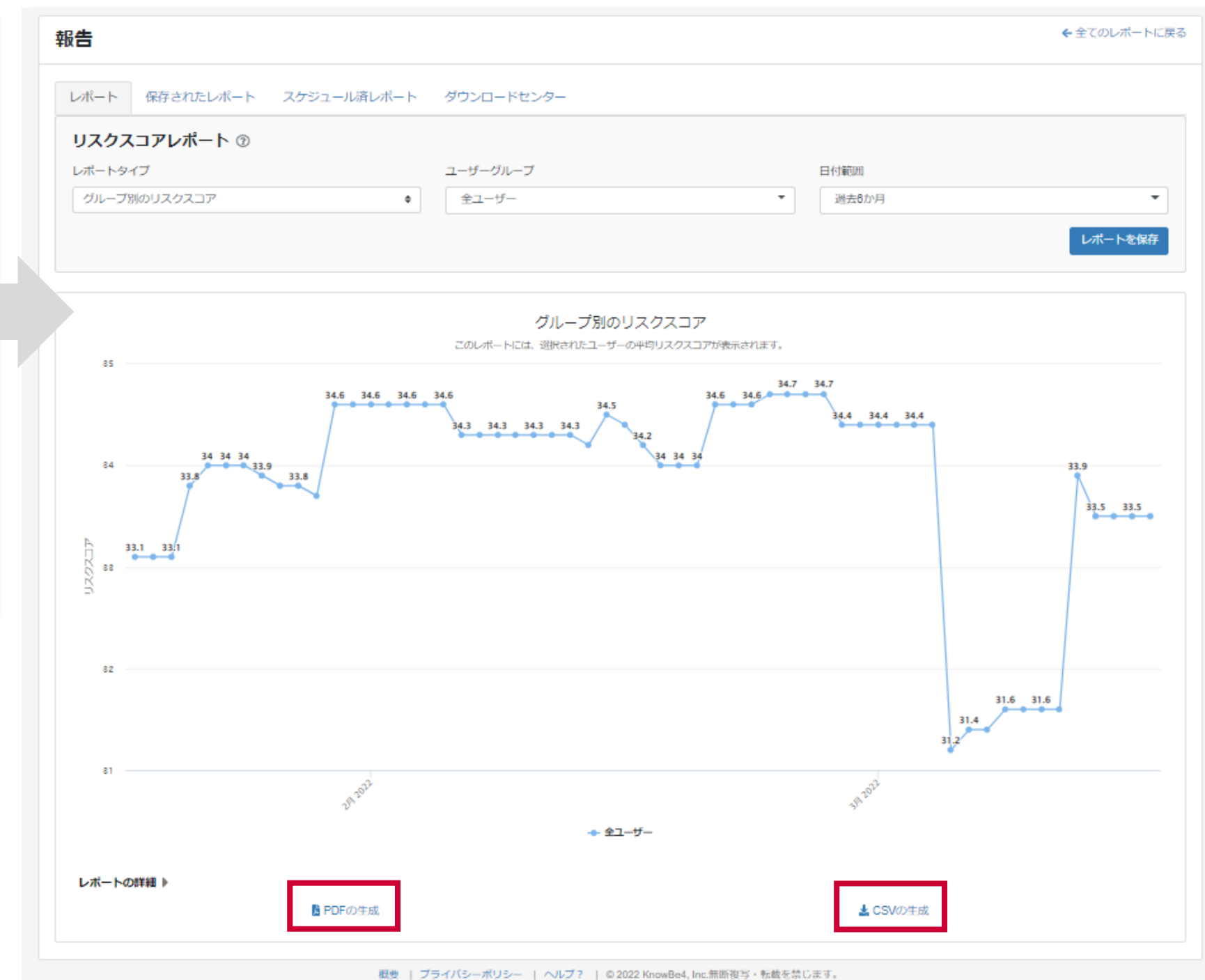
レポート 保存されたレポート スケジュール済レポート ダウンロードセンター

検索...

**リスクスコアレポート**  
ユーザーグループ、場所、最もリスクの高いユーザー別に組織のリスクスコアを表示します。

**グループとユーザーレポートカード**  
各ユーザーグループや各ユーザーのリスクスコア、フィッシングの結果、トレーニングステータスを表示します。このレポートは、どのようなタイプのフィッシングメールにユーザーが最も不合格になりやすいかを判断するために利用できます。

**フィッシング詐欺ヒット率レポート**  
ユーザーがフィッシング攻撃にどれだけ脆弱であるか表示します。このデータは、ユーザーグループ、トレーニング時間、キャンペーン、または初回のフィッシングテスト別に表示できます。



報告 [全てのレポートに戻る](#)

レポート 保存されたレポート スケジュール済レポート ダウンロードセンター

**リスクスコアレポート** ②

レポートタイプ: グループ別のリスクスコア

ユーザーグループ: 全ユーザー

日付範囲: 過去6か月

[レポートを保存](#)

**グループ別のリスクスコア**  
このレポートには、選択されたユーザーの平均リスクスコアが表示されます。

日付	リスクスコア
2022/01/01	33.1
2022/01/08	33.1
2022/01/15	33.8
2022/01/22	34.0
2022/01/29	34.0
2022/02/05	33.9
2022/02/12	33.8
2022/02/19	34.6
2022/02/26	34.6
2022/03/05	34.6
2022/03/12	34.6
2022/03/19	34.3
2022/03/26	34.3
2022/04/02	34.3
2022/04/09	34.3
2022/04/16	34.5
2022/04/23	34.2
2022/04/30	34.0
2022/05/07	34.0
2022/05/14	34.6
2022/05/21	34.6
2022/05/28	34.7
2022/06/04	34.7
2022/06/11	34.4
2022/06/18	34.4
2022/06/25	34.4
2022/07/02	31.2
2022/07/09	31.4
2022/07/16	31.6
2022/07/23	31.6
2022/07/30	31.6
2022/08/06	33.9
2022/08/13	33.5
2022/08/20	33.5

レポートの詳細 ▶

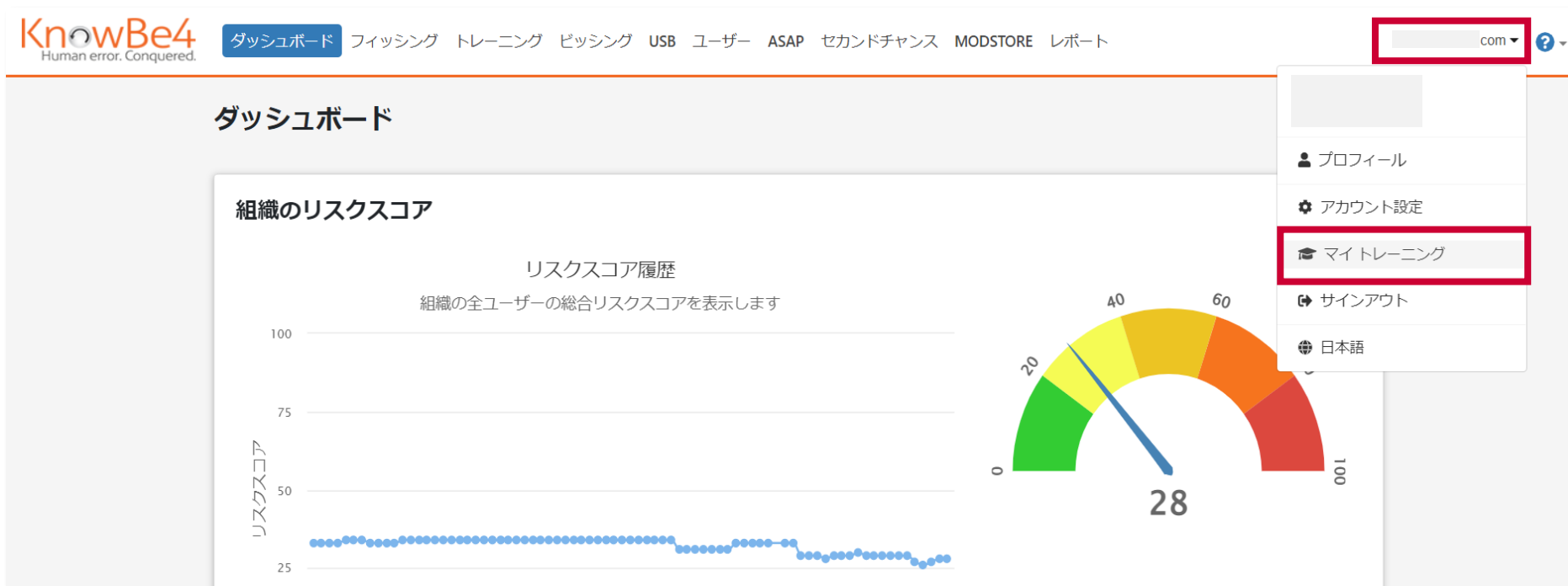
[PDFの生成](#) [CSVの生成](#)

概要 | プライバシーポリシー | ヘルプ? | © 2022 KnowBe4, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

# E マイトレーニング

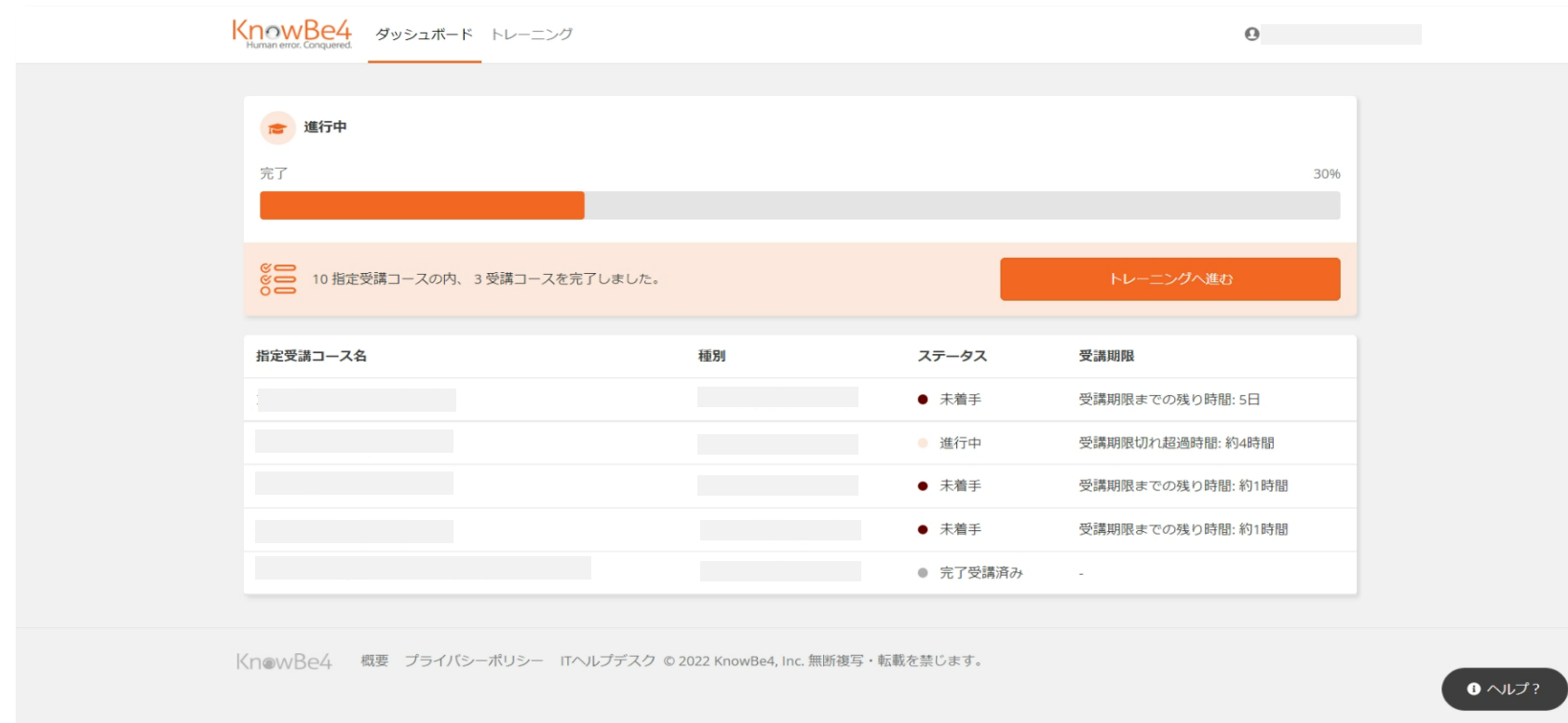
# E-1 受講者ホームログイン

管理者がユーザーとして受講する場合は、受講者ホームへ切り替える必要があります。



①画面右上のメールアドレスをクリックします。

②「マイトレーニング」をクリックします。



受講者ホームにログイン完了です。

その他ユーザーとしての設定方法・操作手順については「ユーザーマニュアル」をご確認ください。

# 変更履歴

# 変更履歴

つながり。驚きを。幸せを。



版 数	変更年月日	変更項目	変更 内容
1.0版	2022年4月28日	ALL	初版
1.01版	2022年7月1日	A-2 A-5 A-7	・多要素認証の設定についてロックがかかった際の注釈追加 ・ホワイトリスト登録について問い合わせの注釈追加 ・Phish Alertボタンの送信先アドレスについて注釈追加
1.02版	2023年1月11日	A-1	・初期ログインの手順を変更
1.03版	2023年 5 月 8 日	A-6	・URLフィルタリング設定手順の修正
2.00版	2023年11月15日	A-3 A-4 A-6 C-3	・グループ管理画面からセキュリティロールのメニューを削除 ・ユーザー管理画面からセキュリティロールのメニューを削除。管理者権限のユーザー作成について注釈追加 ・フィッシングリンクのドメインについて追加 ・フィッシングリンクのドメインについて追加
2.01版	2025年2月3日	表紙	サービス名の変更（「プロフェッショナルサービス（PS）」の削除）
2.02版	2025年2月26日	A-7	・Phish Alertボタンの設定方法の修正
2.03版	2025年8月15日	ALL	・社名変更（NTTコミュニケーションズ→NTTドコモビジネス）
2.04版	2025年8月27日	B-3 C-3	・カテゴリ名変更（NTT Com→NTTドコモビジネス）